

# ひまわり



令和2年 10月 1日  
羽咋市立粟ノ保小学校  
校長 目ヶ谷 澄江  
2020年 第12号

## 全校集会の話 10/1

上杉鷹山という昔のお殿様の「為せば成る、為さねばならぬ何事も、成らぬは人の為さぬなりけり」という言葉について、次のようにお話ししました。

～この言葉は「やればできる、やらなければ何もできない、できなかったということは、その人がやらなかったということだ。」という意味です。始める前から、「面倒だ、やりたくない、大変そうだ。」などと、やろうとしない人がいます。また、何も努力や工夫をしないで「できない、難しい、悔しい。」などと言っている人もいます。始めなければ、いつまでたってもできるようにはなりません。うまくいく方法を考えて一生懸命に努力し、行動すれば、きっと成功できるのです。がんばったらがんばっただけ、自分の能力が高まり、次のことに挑戦する力が付きます。皆さんの頑張りを応援しています。～

秋は、「スポーツの秋・勉強の秋・読書の秋」と言われているように、いろいろなことに頑張れる季節なので、ぜひ進んで、いろいろなことにチャレンジしてほしいですね。



【児童集会の1年生の様子！】

## イングリッシュキャンプ(5,6年生)

9/16,17 : <in 国立能登青少年交流の家>

西北台小学校 5,6年生と一緒に！

羽咋市内の小学校では、英語力を高めるために「イングリッシュ



【最後まできれいに洗いました！】

キャンプ」に行き、英語で話す活動を多く行っています。今回は、コロナウイルス感染拡大防止のために宿泊はせずに1日目は16時まで、2日目は14時までの活動を行いました。

16日は、まず「イングリッシュオリエンテーリング」をしました。緊張しながらA L Tや国際交流員と

の英会話を楽しみ、チェックポイントの写真にある英語表記の場所を探しました。次の「日本の文化紹介」では、グループで協力してテーマを選び英作文し、どの英文を発表するか分担して、発表しました。班ごとに発表に工夫がありました。西北台小学校の人と同じグループなので、一緒に協力して仲良く取り組みました。

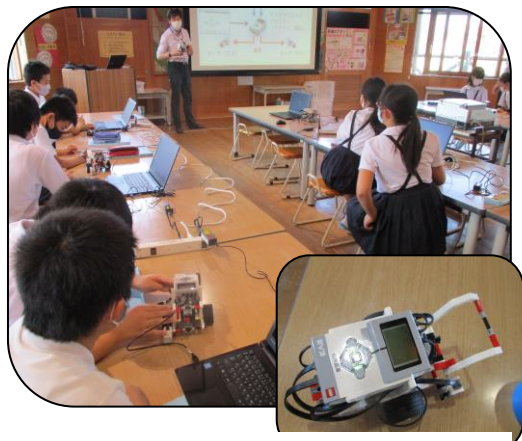
17日は、ガパオライスの作り方を英語で教えてもらい、グループごとに協力して作りました。赤パプリカとピーマンと玉ねぎをみじん切りにするのが大変そうでしたが、どのグループもおいしそうに仕上がりました。最後に目玉焼きを載せると見栄えも良く、食べると本当においしかったです。片付け・洗い物は、一人ひとりがしっかり最後までがんばりました。

【国際交流員のギーさんと会話できたよ！】



【国際交流員と英語で会話し、昼食！】

## プログラミング教室 9/23,24 (水, 木)



【どんな命令をプログラムすればいいかな？】

受け熱心に取り組み、プログラミングへの理解が深まりました。

5年生と6年生が、「地域の農業をサポートするためのロボットプログラミング」と題して、栗ノ保地区のスイカ栽培における課題を解決するためのアイデアを考え、実現するためのロボットプログラミングに挑戦しました。集荷作業をするロボットのプログラミングはかなり難しく、四苦八苦していました。児童はパソコンからロボットカーに、直進させたり、回転させたり、ボールを持たせたり、線に沿って移動し赤色のボールを持ち運んだり、とさまざまな動きのプログラムを送りました。思った通りに、ロボットが動くと、とっても満足そうでした。

石川高専の堀純也准教授・田中永美技術専門職員の指導を受け

## 授業参観 9/25 (金)



【杉森栄養教諭の食育の話】

全校一斉での、道徳の授業参観でした。ご多用の中、ご参観いただきありがとうございました。特に1年生の保護者の皆様は、給食試食会や栄養教諭の食育の話もあり、長時間にわたり、ご参加



【児童の考えを聞いてもらいました！】

いただきありがとうございました。道徳の授業をご覧になり、児童がどんな風に考えるか、心の中が理解できたのではないのでしょうか。それぞれの学級に応じた内容で、道徳的価値について話し合い、友達の考えを知り、自分の考えを広め深めました。

保護者の皆様に、その年齢の児童の考え方を理解してもらえてよかったです。ご家庭でも時々話し合ってみてください。

教育講演会の後で行われた学級懇談会では、1～5年生は「親子ふれあい活動」をしないことに決まりました。

## 教育講演会 9/25：リモートで！

「子どものやる気を高める親の関わり方」と題して、金沢大学人間科学系 荒木友希子准教授の講演を聴きました。子ども

のやる気を高めるために、4つの〇〇上手『ほめ上手・整え上手・伝え上手・聴き上手』をめざしましょう、というわかりやすい内容でした。コロナウイルス感染拡大防止のために、質疑応答をリモートで行いました。金沢大学にいる荒木准教授にPCに向かって質問し、応答していただきました。スクリーンには、荒木准教授と質問している保護者の方が写っています。

次の日から1週間、各家庭で「子育て声かけチャレンジ活動カード」に取り組み、『ほめ上手・整え上手・伝え上手・聴き上手』をめざしています。

児童にとって重要な居場所である家庭が、やる気を高める場所になりますように！



【PCに向かい、リモートで質問をしているところ！】